



瑞浪市青少年育成市民会議だより

第6号

笑顔あふれるみずなみ

『みとめて ほめて はげまして』みんなの力で健やかに

〔発行〕 瑞浪市青少年育成市民会議
瑞浪市教育委員会社会教育課
TEL68-5281（総合文化センター内）

〔編集〕 瑞浪市青少年育成市民会議
広報部会

第2回青少年育成市民会議



釜戸野球スポーツ少年団



瑞浪小ソフトボールスポーツ少年団



表彰状・感謝状贈呈



大湫町青少年育成町民会議

第2回瑞浪市青少年育成市民会議

平成27年2月15日（日）

市民会議では、青少年育成に貢献された方への表彰状・感謝状の贈呈や釜戸野球スポーツ少年団、瑞浪小ソフトボールスポーツ少年団、大湫町町民会議の育成活動の実践が報告されました。両スポーツ少年団の発表では、少子化という課題の中、「人を育てる」少年団活動のあり方を報告していただきました。大湫町では青年代表の皆さんがプレゼンテーションを担当し、若い力を発揮して注目を集めました。

【受賞者名の紹介】

表彰状：渡邊徹太郎（大湫町）

感謝状：いいなっつ農園（稲津町）、陶町明日に向かって街づくり推進協議会与左衛門部会（陶町）

松扇会（陶町）、水上区手踊り同好会（陶町）、野上利行（山田町）、足立登（釜戸町）、三宅邦彦（陶町）

佐藤典久（陶町）、永井等（陶町）、小林健吾（明世町）

〔敬称略〕

町民会議の活動紹介

稲津町青少年育成町民会議



稲津町青少年育成町民会議では、家庭・学校・地域が三位一体となって青少年健全育成活動を行っています。具体的にはあいさつ運動、春と秋の花いっぱい運動、標語募集、公民館やまちづくり推進協議会と連携しての「いいなっつ農園」、「ふれあい映画館」、「町民運動会」など様々な活動を展開しています。こうした活動の目的は地域のおじさん、おばさんがいつも子どもたちを温かく見守っているよとメッセージを伝えることにあり、明るいまちづくりに寄与しています。

陶町青少年育成町民会議

今年度の活動として、三部会を中心とした、地域のふれあい、家庭教育の向上、中・高校生の活動への参加を呼びかけながら町民会議の充実を図ってきました。町民参加の「ふれあい広場」では、絆マラソンに陶の3地区が力を合わせて挑みました。また「すえっこくん」や「明日に向かって街づくり推進協議会」、とも協力し合い、町民会議時の講演会や「あ・うん」コンサートを始めとする音楽イベントなどを行っています。このように町が一つに繋がる活動を行い、陶町の活性化を推進しています。



日吉町青少年育成町民会議

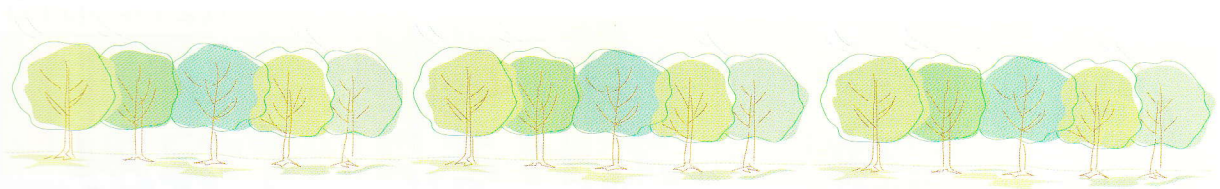


日吉町青少年育成町民会議では、夏休み期間中に小学生を対象とした「公民館で遊ぼう」を4回実施しました。8月6日に行われた「かかしをつくろう」では、小学生24名が日吉寿大学の学級生17名と協力し、暑さも忘れて2時間ほどで個性あふれる様々なかかしを完成させました。作品は、日吉公民館のロビーや駐車場に展示され、訪れる町民を和ませていました。世代を超えたふれあいは、夏の日の楽しい思い出となりました。

土岐地区青少年育成町民会議

ここ数年、土岐地区青少年育成町民会議の事業として、母校の出身者で、各方面で活躍されている方々をお招きして、子どもたちに講演会を行っています。今年度も、秋も深まった11月18日、瑞陵中学校体育館にて可児恵太弁護士の講演会を開催しました。講演会の翌々日から2年生の「職場体験」が始まることから、職業講話という形で行いました。（昨年の土岐小学校に続いて行いました）聴講者は、2年生・校長・学年担任の先生・地域の方々およそ130名ほどでした。まず、なぜ弁護士を目指して現在に至ったのかをお話されました。最も影響力が大きかった小学校1年の担任の先生のこと、ご自分の性格のこと、体が弱く勉強が苦手だったこと等々、包み隠さず話される可児先輩の姿をまっすぐに見つめている生徒らが印象的でした。





釜戸町青少年育成町民会議

今年度の「釜戸町夏まつり」も第15回になり、7月26日に開催されました。スローガンを、「ござらっせ 夏まつり」と題して、後援として青少年育成町民会議地区推進部会員17名が、初めて夏まつりに参加しブースを出店しました。出店に際し地区推進部会では、賛否両論ありましたが、青少年健全育成の重要な事業と位置付け、ヨーヨー釣りをを出店しました。当日は、中学生もボランティアとしてブースに協力し、多くの町民の皆さんが来場し、楽しく夏まつりのひと時を過ごされました。この成功を基に来年度から、釜戸町青少年育成町民会議地区推進部会の活動の場として「釜戸町夏まつり」に参加するよう事業目標に掲げ活動していきたいと思っています。



瑞浪地区青少年育成町民会議



瑞浪地区は昨年初めて総会を開催し、「基本要綱」や「事業計画・予算・組織」の承認を頂き、船出することができました。また本年度、学校の先生方から貴重なご意見を頂き、まずは、各区の行事（イベント）情報を小・中学生のボランティア参加希望者に提供し、橋渡しをする活動の在り方を運営委員会で協議してきました。今後、町民会議活動の軸として取り組んでいけたらと思っています。

大湫町青少年育成町民会議

大湫町青少年育成町民会議では、町の行事に若者の参加を呼びかけたところ、数名ではありますが、20代の青年の協力が得られました。特に本年度は夏休みの「木工教室」での補佐役、高浜市との都市農村交流では「大湫町ふれあい農園」での稲刈り体験への参加、町民文化祭では芸能の部の司会進行役等、積極的に行事を盛りあげてくれました。今後も町の各種行事への若者の参加が大いに期待されています。



明世地区青少年育成町民会議



今年度で2回目となる『中学生と語る会』が11月29日、明世地区の中学3年生14名と、地域の町民16名が集い開催されました。普段あまり交流のない町民と会って話をする中学生も最初は緊張気味でしたが、美味しいケーキと飲み物が配られ、和やかな雰囲気の中で、「中学生として地域の為に出来ること」をテーマに活発な意見が出されました。話し合いを通じて中学生が町の各行事等へ参加したいという意欲を改めて認識し、今後町民とのつながりの場に多くの中学生が参加されることを望みます。

家庭教育から見たケータイ・インターネット

「家庭教育部会」

(26年11月22日 開催)



* 我が家の約束・事情

- ・未成年者が使うのは10時まで。弟と兼用。 ・10時以降は電源をOFF。
- ・食事中はさわらない。 ・約束事を紙に書いて貼っておく。誓約書を書かせた。
- ・家の事情（10時以降はメールの返事ができない）を相手にしっかり伝えさせる。
- ・自分の情報はネット上に載せないように子どもに言っている。
- ・毎月〇円以上になったら親は払わない。自分（バイト代）で払わせる。
- ・ケータイ・スマホ・iPadなどに子守役をさせている例がある。

* 心配事

- ・LINE…いろんな子の名前が飛び交っているので怖い。（あちこちでつながっている。）
- ・お金を請求されるサイトにつながってしまったことがある。
- ・友達関係が崩れて学校へ行けなくなる例もある。
- ・小学生はゲームに熱中し、昼夜逆転してしまう例がある。
- ・送られてきた写真は自由に加工できてしまう。 ・ブログで他人の悪口を書いた。
- ・言葉が一人歩きする。受け取り方によって様々である。

* 対策・方向性

- ・各家庭でしっかり指導することが原則。
- ・市のルールがあった方が（学校・家庭で）指導はしやすい。使い方の確認にもなる。
- ・小、中を対象にしたルールづくりをしていきたい。（高校では学校に持って来させないというルールは難しい。）
- ・市P連を中心に動けるとよい。→**市P連と市民会議とが連携して進めていきます！**
- ・子ども同士（学級・学年・生徒会）で話し合わせる大切ではないか。
- ・大人自身のモラルが問われている。
- ・親子、友達のコミュニケーション（＝直接的な会話）が大切。



高校生と語るケータイ・インターネット

☆我が家のルールは…

- ・使用時間を決めておく。(夜11時まで)
- ・ケータイを使わない時はリビングに置く。
- ・食事中はしない。深夜はしない。

☆大人より

- ・どうしても必要なのか？
- ・見ず知らずの人とLINEでやりとりすることについては心配。
- ・親が支払う利用料金を把握していないのはどうかと思う。
- ・電車の中でほとんどの人がケータイをかまっているのは異様に思う。
- ・歩きスマホは危険。
- ・ケータイにかかる時間を他に使ったらどうか。
- ・高校時代は社会に出た時に一人前になるための準備期。スマホの使い方もよく学んで欲しい。(スマホでしかできないことと、スマホでもできることの区別をし、しっかり使い分けること) …業者は「なくても済むけどあると便利」な商品売り込んでくる。→「便利だけど要らない」と言い切れるとよい。便利さと危険性を認識すること。
- ・自動車とスマホは同じ。教習と免許が必要。
- ・フィルタリングは必要。※Wi-Fiは止められない。
- ・スマホ依存症になったまま親になると、子どもがいてもそれぞれが自分だけの世界に浸ってしまうという家族関係になる恐れあり。
- ・どこかで断ち切らなければいけない。→市のルールを決めることにも意味がある。

「フレッシュトーク in 瑞浪」

(26年11月22日 開催)



☆高校生より



- ・受験の時期にケータイにはまり成績が落ちた経験あり。
- ・メールのやりとりで友達と関係が悪くなったことがある。
- ・一日中かまっている。・LINE…自分も入らないと話についていけない。
- ・架空メール、迷惑メールが多い。個人情報もれていないか心配。
- ・iPhoneを利用している。お金がかかり過ぎるのを心配している。(親のクレジットカードで一括払い)

☆高校生の感想より

大人と高校生の考え方の違いを感じた。大人は子供のことが心配で、規制とか約束を作ってやっていこうとしていることが分かった。自分は、約束を守るが、守りたくないとき・面倒くさいと思う時もある。自分がこれから大人になった時、自分の子どもが「面倒くさい」と思っても、ちゃんと話していこうと思った。



市民会議 活動紹介

◇環境改善部会より

・平成26年11月19日(水)

多治見警察署生活安全課より平光一仁さん、田中聡さんをお迎えし、「東濃管内の非行・危険ドラッグについて」、「振り込め詐欺について」のお話をいただきました。

☆さまざまな手口

『たすけて!』『もうかりまっせ!』『このままじゃ濟まないぞ!』…甘えたり、誘ったり、脅したり

- ①おれおれ詐欺 ②架空請求 ③融資補償
④還付金詐欺 ⑤振込類似詐欺(金融商品・ギャンブル必勝法・異性斡旋)

☆身を守る対策

『電話でお金の話が出たらまず詐欺だと思え!』『たとえ、身内の名前を出してきても疑え!』『一端電話を切って、電話をかけ直す(教えられた番号でなく、本当の番号に)』
→すぐに警察に相談する。
※(家に居ても)留守番電話にしておくといよい。

「薬物を必要としない生き方を
目指そう!」

- ①自己決定できる
②自立している
③高い自尊感情
④他者への共感

※薬の怖さをしっかり教えていく

『薬物を嫌いになる薬・治療はない』『薬物を忘れる薬・治療はない』

↓
◎自分の精神力で乗り越えるしかない!



『子ども・若者育成支援強調月間』
街頭啓発活動 平成26年11月4日(火)

「なくそう非行 地域で育む青少年」
「青少年 地域で守ろう 育てよう」

平成27年度 主な年間行事予定

- 5月24日(日) 第1回青少年育成市民会議
11月22日(日) 高校生と語る会
2月21日(日) 第2回青少年育成市民会議

編集後記

今年度力を入れてきた「ケータイ・インターネット問題」について特集を組みました。今後、市P連、教育委員会とも連携して取組を進めます。